

JAHISの提言が骨太方針2022に採用されました。

6月7日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」(骨太方針2022)に、JAHISが提言した「診療報酬改定DX」が盛り込まれました。

JAHISが提言した「診療報酬改定DX」の要旨

①「診療報酬情報デジタル化」

現在の大量の紙ベースかつ文章ベースの診療・調剤報酬情報を容易にプログラム利用できるようにデジタル化。

② デジタル化の実現方法として「診療報酬算定モジュール」

診療・調剤報酬の点数・患者負担金計算に係るプログラム・ロジックをベンダーが共通利用できるようモジュール化。

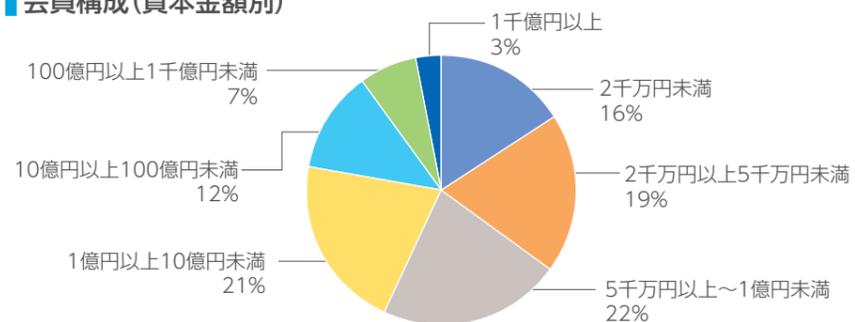
③ モジュール化の効果最大化のための「診療報酬改定作業ピーク抑制化」

診療・調剤報酬改定作業のピーク抑制と品質のさらなる向上のため、現在のスケジュールを見直す。

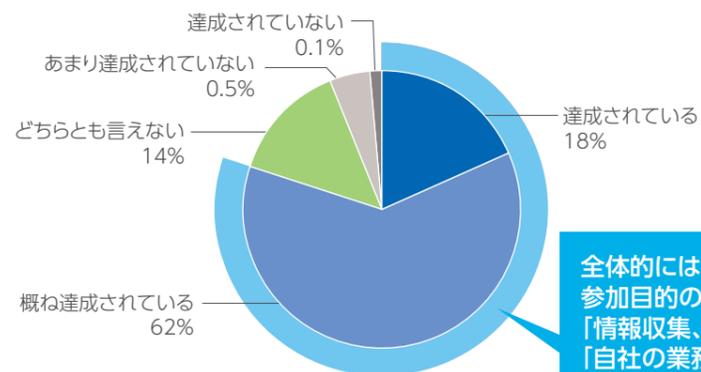
各種の審議会、ワーキングへの委員派遣による業界意見の反映や、
保健医療福祉分野における政府・業界の早期の情報入手など、
メリットは様々

会員状況

■ 会員構成 (資本金額別)



■ JAHIS会員の満足度 (参加目的の達成度)



全体的には80%の方が
参加目的の
「情報収集、業界動向の把握」
「自社の業務遂行、事業拡大」
が達成されていると回答

入会案内・お問い合わせ先



一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 総務部長
東京都港区新橋2丁目5番5号(新橋2丁目MTビル) 5階
電話:03-3506-8010 Fax:03-3506-8070
<https://www.jahis.jp/>

保健医療福祉情報システム業界の健全な発展と
新規ビジネスの機会創出に向けた潮流をつくる

JAHIS

入会のご案内

JAHISは、保健、医療、福祉分野の情報システムを扱う会員企業で構成される工業会です。

情報システムの導入、システム間連携を円滑に行うための標準化の推進や品質向上への取り組みを通じて、
業界のみならず医療機関、保健福祉事業者、患者様の利益向上に広く貢献する活動を推進しております。

JAHISの活動は貴社にも大きなメリットをもたらすものと確信しております。

この機会に是非とも入会のご検討をいただきますようご案内いたします。

一般社団法人
保健医療福祉情報システム工業会



ご入会案内はこちらから

ジェイヒス JAHISとは

「JAHIS」は一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
Japanese Association of Healthcare Information Systems Industry の英語略称です(登録商標)。

JAHISは、1994年4月に発足してから、以下のような取り組みを継続・実践しています。

- ①標準化の策定、普及
- ②品質向上に向けた取り組み
- ③健全な市場の維持発展
- ④産官学との協調
- ⑤グローバル化に対応した海外市場の開拓、新規ビジネスの機会創出
- ⑥コンプライアンス向上の仕組み作り
- ⑦人材育成

会員企業は保健、医療、福祉の各分野における情報システム*やネットワーク、医療機器の事業者等、幅広い範囲で構成されています。
現在、ヘルスケア産業400社近くの会員で事業を推進しています。

*医事会計システム、オーダエントリー、電子カルテ、保険者システムなど

最先端の動向や新たな潮流を間近で体感、新規ビジネス創出・早期参入の契機に！
データ循環型社会の創成期に参画することで、長期的なビジネスに繋げるチャンス！
人材育成のための勉強会や教育セミナー、
業界動向を解説する講演会のプログラムを多数実施しています！

勉強会・セミナーのテーマ(例)

- ・マイナンバーとオンライン資格確認
- ・地域医療連携(退院サマリー・経過記録の構造化)
- ・最新技術動向とセキュリティ(FHIR、監査証跡)
- ・医療従事者とのリレーションシップ研修

特別講演テーマ(例)

- ・次世代医療ICT基盤協議会の取り組みについて(内閣官房)
- ・医療ビッグデータの利活用について(厚労省)
- ・厚生労働省が進めるデータヘルス改革の取組状況(厚労省)
- ・『魔法の鏡』でスマートエイジング(東北大学) など

JAHIS入会のメリット

医療制度や標準化動向の情報を早期に入手

業界内での人脈が広がります

業界に特化したセミナー・勉強会や有識者講演会に参加できます

行政の施策案に対して意見を述べられます

展示会への出展にサポートが得られます

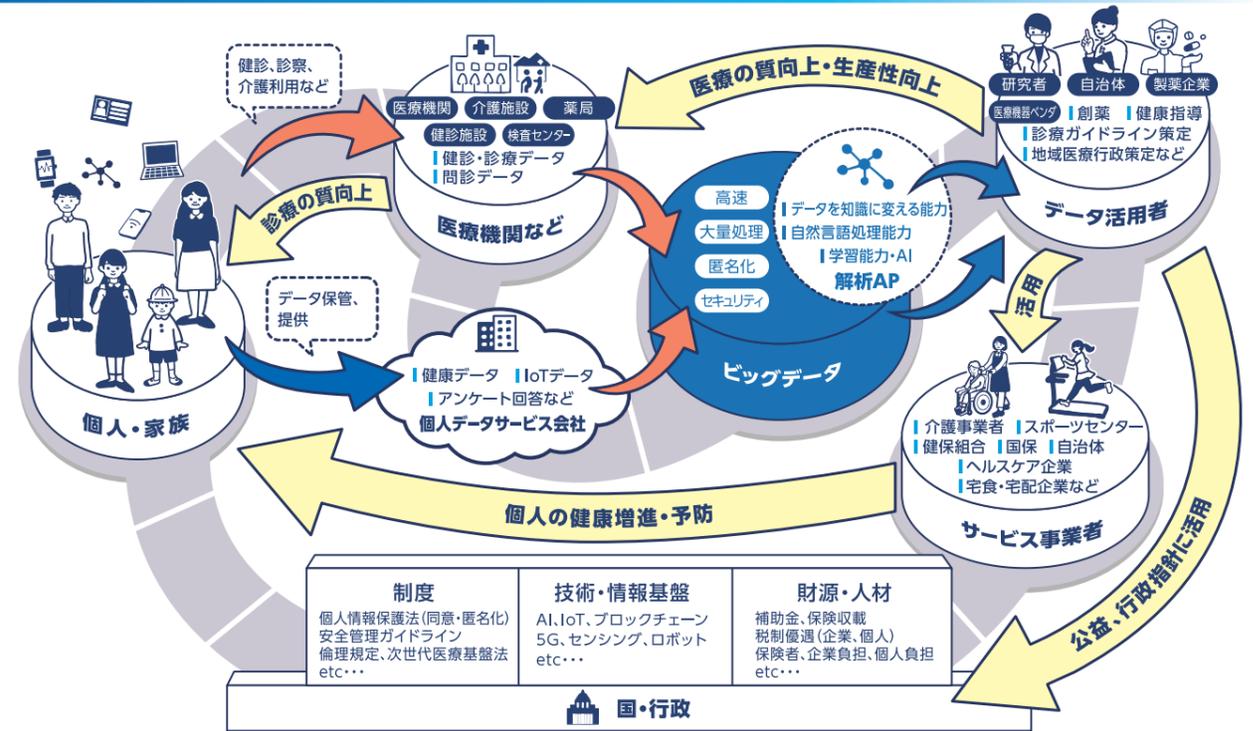
一人では悩む疑義解釈・標準類の相談ができます

- (例) 【厚生労働省】
- 会議名 特定健診・特定保健指導の見直し検討会 システム改修WG及び作業班
 - 実績 運用面の課題も理解する専門家として参加し、会員企業からの意見反映及び迅速な情報提供を実施
 - 会議名 データヘルス改革を見据えた次世代型お薬手帳活用推進事業調査検討会
 - 実績 モデル事業、好事例収集、ガイドライン策定の策定等の活動
 - 会議名 令和4年度労災レセプト普及促進委員会
 - 実績 労災レセプトを多数扱う医療機関向けに「労災オンライン用リーフレットの配布」提言、及び開発事業者各社の開発状況共有を支援
 - 会議名 健康・医療・介護情報利活用検討会
 - 実績 ベンダー視点からの意見具申を行い、特に電子処方箋の仕組みや設計には検討段階から参画する等、「データヘルス集中改革プラン」の整備に貢献
 - 会議名 医療情報標準化推進協議会(HELICS協議会)、厚生労働省保健医療情報標準化会議
 - 実績 ヘルスケア分野の標準化推進(MDS/SDS、FHIR等)に貢献
- 【デジタル庁】
- 会議名 共通機能等技術要件検討会
 - 実績 実装や運用にあたっての課題検討及び解決に関し、業界団体の代表として議論に参加・貢献

JAHIS2030ビジョン(JAHISが目指す方向性)

皆様から発生したヘルスケアデータが、医療機関や介護施設・健診施設などで利用されて蓄積されていく。それを集めてビッグデータが生まれる。そのビッグデータを活用する人々が、たとえば薬をつくったり、サービスにつなげたりする事業があり、それが医療サービスの質の向上などを通して個人へと還元される。その様に皆様から発生したデータが、より大きなサービスとして還ってくる「データ循環型社会」をJAHISはめざしています。

JAHISが考える「健康・医療・介護データ活用基盤」の全体像



「産官学」連携におけるJAHISの位置付け

JAHISでは、行政・学会・諸団体と連携を取り、医療ITの推進、標準化を進めています。

